



ATS flex

取扱説明書

# 目次

<b>1 使用上の注意事項</b> .....	<b>4</b>	4.4 返品 .....	9
1.1 本製品に関する情報.....	4	<b>5 搭載</b> .....	<b>10</b>
1.2 保証 .....	4	5.1 付属品の取り付け .....	10
1.3 お問い合わせ先.....	4	5.2 止め具の使用 .....	10
1.4 本取扱説明書に関する情報.....	4	5.3 ガイドの取り付け.....	10
1.5 著作権および知的財産権.....	4	5.4 ATS flex の接続.....	10
1.6 本取扱説明書の保管と引き渡し.....	4	<b>6 操作</b> .....	<b>11</b>
1.7 本取扱説明書の対象グループ.....	4	6.1 クロージャーのセット .....	11
1.8 一般的な情報 .....	4	6.2 ストラップのセット.....	11
1.9 本取扱説明書の表記規則.....	4	6.3 締付け強度の設定.....	11
1.9.1 危険の分類 .....	4	6.4 スイッチをオンにする .....	12
1.9.2 その他の表記規則.....	5	6.5 モード選択.....	12
<b>2 安全に関する注意事項</b> .....	<b>5</b>	6.6 結束 .....	12
2.1 電動工具の一般的な安全に 関する注意事項 .....	5	6.7 通常操作時の動作シーケンス.....	12
2.1.1 労働環境の安全 .....	5	6.8 位置決め.....	13
2.1.2 電気システムの安全 .....	5	6.8.1 被結束物の位置決め .....	13
2.1.3 人身の安全 .....	5	6.8.2 結束物の形状 .....	13
2.1.4 電動工具の使用および取り扱い.....	6	6.9 スイッチをオフにする .....	14
2.1.5 点検 .....	6	6.10 クロージャーを取り除く.....	14
2.2 用途に適した使用 .....	6	6.10.1 クロージャーをフロントキャップ から取り除く.....	14
2.3 不適切な使用 .....	6	6.10.2 クロージャー装着部からクロー ジャーを取り除く .....	14
2.4 作業者の資格 .....	6	6.11 ストラップの取り外し .....	14
2.4.1 操作のための専門作業員.....	6	<b>7 トラブルシューティング</b> .....	<b>15</b>
2.4.2 整備やメンテナンスのための 専門作業員 .....	6	7.1 エラー分析.....	15
2.4.3 資格を有する電気技術者 .....	7	7.2 考えられるエラー.....	16
2.4.4 修理と点検のための認定された 専門技術者 .....	7	7.2.1 重要な注意事項.....	17
2.5 ATS flex の使用に伴う 基本的な危険性 .....	7	7.2.2 リセットの実施 .....	17
2.5.1 作業領域の清潔さ.....	7	<b>8 メンテナンス</b> .....	<b>17</b>
2.5.2 予備部品および付属品 .....	7	8.1 重要な注意事項.....	17
<b>3 構造と機能</b> .....	<b>8</b>	8.2 付属品および追加部品 .....	17
3.1 納入品目.....	8	8.3 製造元によるサービス.....	17
3.2 機能説明.....	9	8.4 メンテナンスプラン.....	18
3.2.1 ツール ATS flex.....	9	8.5 修理作業.....	18
3.2.2 ディスプレイ .....	9	8.5.1 フロントキャップの清掃.....	18
<b>4 輸送、廃棄処分および保管</b> .....	<b>9</b>	8.5.2 ガイド、上ガイドフラップ、 下ガイドフラップの点検 .....	18
4.1 輸送 .....	9	8.5.3 上ガイドフラップおよび 下ガイドフラップの交換 .....	19
4.2 廃棄処分.....	9	8.5.4 ストラップカッターの確認と交換 .....	20
4.3 保管 .....	9		

<b>9</b>	<b>技術仕様</b> .....	<b>21</b>
9.1	ATS flex.....	21
9.1.1	本体番号.....	22
9.1.2	銘板 .....	22
9.2	騒音と振動に関する情報 .....	22
<b>10</b>	<b>適合宣言書</b> .....	<b>23</b>

## 1 使用上の注意事項

この取扱説明書は、ATS flex を正しく使用していただくための大切な手引きです。

製品を正しく適切に、かつ効率的に操作していただくために重要な情報や安全に関する注意事項が記載されています。

この説明書は、危険を回避し、修理コストやダウンタイムを抑えるだけでなく、ATS flex の信頼性および耐久性を向上させます。

ここに記載されている指示に従わない場合、致命的な事故、傷害もしくは物的損害につながる可能性があります。

### 1.1 本製品に関する情報

製品名：ATS flex

Article number : 102-6000

本製品に関する詳細情報は、銘板に記載されています。

### 1.2 保証

保証は法的要件に準拠します。保証期間は、製品を購入された国のみで適用されます。

バッテリー、ヒューズおよび光源は、保証対象ではありません。

### 1.3 お問い合わせ先

本取扱説明書に記載されている製品の製造元：

HellermannTyton GmbH

Großer Moorweg 45

D-25436 Tornesch

Tel. +49 4122 701-0

[www.HellermannTyton.de](http://www.HellermannTyton.de)

[info@HellermannTyton.de](mailto:info@HellermannTyton.de)

### 1.4 本取扱説明書に関する情報

最終更新日：27.11.2023

### 1.5 著作権および知的財産権

本取扱説明書の著作権は、製造元に帰属します。本取扱説明書のいかなる部分も HellermannTyton GmbH (以後「HellermannTyton」と表記) の書面による承諾なしにいかなる形式でも複製、電子的システムを使用しての処理、複製および処理することを禁止します。以上に違反する場合、損害賠償責任が発生します。

### 1.6 本取扱説明書の保管と引き渡し

本取扱説明書を必ず作業が行われる場所のすぐ近くに保管し、すべての作業者が常時利用できるようにしてください。本製品を使用する会社は、作業者に本取扱説明書の保管場所を通知しなくてはなりません。

説明書が判読できなくなった場合は、製造元にて交換してください。

ATS flex を第三者に譲渡もしくは売却する場合は、以下の書類を新しい所有者に引き渡してください。

- 取扱説明書
- 修理作業に関する書類
- メンテナンスに関する証明書
- ▶ 取扱説明書は、湿気、直射日光および高温を避けて保管してください。

### 1.7 本取扱説明書の対象グループ

以下の作業に携わる作業者は、必ず本取扱説明書を読み、指示を順守してください。

- 搭載
- 操作
- メンテナンス
- 修理
- トラブルシューティング

### 1.8 一般的な情報

技術的変更は予告なく行われます。

### 1.9 本取扱説明書の表記規則

#### 1.9.1 危険の分類

本取扱説明書の危険注意に関する指示は、ATS flex の使用に伴う危険性を警告し、それを回避するための注意事項を示しています。

危険注意に関する指示は危険度の高さに応じて3つのグループに分類されています。

#### 危険

「危険」の表示があるテキストは、それを遵守しない場合、死亡事故もしくは重傷につながるおそれのある危険な状況を示しています。

#### 警告

「警告」の表示があるテキストは、それを遵守しない場合、死亡事故もしくは重傷につながるおそれのある危険な状況を示しています。

#### 注意

「注意」の表示があるテキストは、それを遵守しない場合、重度もしくは軽度の傷害につながるおそれのある危険な状況を示しています。

## 1.9.2 その他の表記規則

- ▶ 指示を示す標示
- 箇条書きを示す標示
- ☑ 動作の実行結果

このように強調表示されるテキストは、メニュー、スクリーン上のボタン、ボタンおよびスイッチの名前を示しています。

このように強調表示されるテキストは、ディスプレイのメッセージを示しています。

→ このように強調表示されているテキストは、相互参照を示しています。

### 注記

「注記」の表示があるテキストは、それを遵守しない場合、ATS flex もしくは周辺の損傷につながるおそれのある状況を示しています。

- i** この記号があるテキストには、補足の情報が含まれています。

## 2 安全に関する注意事項

### 2.1 電動工具の一般的な安全に関する注意事項

- i** この章の安全に関する注意事項には、規格 EN 62841 に準拠した、取扱説明書に記載されるべき電動工具の一般的な安全に関する注意事項が記載されています。そのため、ATS flex に直接関係のない内容も含まれている場合があります。

### 警告

すべての安全に関する注意事項およびその他の説明書をお読みください。以下の警告および指示を遵守しない場合、感電、火災および/もしくは重傷につながる危険があります。

必要なときのために、すべての安全に関する注意事項およびその他の説明書は大切に保管してください。安全に関する注意事項における「電動工具」は、電源接続式電動工具（コードのある）もしくは、バッテリー駆動の電動工具（コードレス）を指すものとします。

#### 2.1.1 労働環境の安全

- a) 作業エリアを清潔に保ち、十分な照明を確保してください。作業エリアが整理されておらず、照明が十分でない場合、事故が発生する可能性が高くなります。
- b) 液体、ガス、粉塵などが存在し、爆発の危険がある領域で、電動工具を使った作業を行わないでください。電動工具は、粉塵や煙霧を点火させる火花を発生します。
- c) 電動工具を使用している間、子供や他の人物が近寄らないように、気を付けてください。注意散漫により、ツールのコントロールを失う可能性があります。

#### 2.1.2 電気システムの安全

- a) 電動工具の接続コネクタがコンセントに合っていることを、確認してください。プラグは、変更しないでください。アース保護された電動工具とアダプタープラグを、同時に使用しないでください。変更を加えていないプラグと適切なコンセントを使用することで、感電のリスクを低減させることができます。
- b) パイプ、ラジエーター、レンジおよび冷蔵庫などのアース、もしくは接地されている表面との接触を避けてください。体が地面に接地している場合、感電のリスクが高まります。
- c) 雨や湿気から、電動工具を保護してください。電動工具に水が入り込んだ場合、感電のリスクが高まります。
- d) 電動工具を運んだり、持ち上げたり、もしくはプラグをコンセントから抜くために、接続ケーブルを使用しないでください。熱、オイル、鋭い角、可動部等から、接続ケーブルを離してください。
- e) 電動工具を外で使用する場合、外での使用に適した延長コードを使用してください。外での使用に適した延長コードを使用することにより、感電のリスクを低減することができます。
- f) 電動工具を湿気の多い環境で動作させなくてはならない場合、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用することにより、感電のリスクを低減させることができます。

#### 2.1.3 人身の安全

- a) 常に油断せず、自分が行っている作業に注意し、常識的な判断を行った上で、電動工具での作業を実施してください。疲労、ドラッグ、アルコール、薬の影響がある場合、電動工具を使用しないでください。電動工具使用時の一瞬の不注意により、重傷を負う可能性があります。
- b) 個人用保護装備を着用してください。粉塵マスク、滑り止め防止安全靴、保護ヘルメット、聴覚保護具等の個人用保護装備を、電動工具の種類、使用に応じて着用することで、怪我のリスクを軽減することができます。
- c) 不注意による意図しない機器の稼働は、必ず防いでください。電動工具の電源/バッテリーへの接続、持ち上げ、運搬の前に、電動工具がオフになっていることを、必ず確認してください。電動工具を持ち上げる際、スイッチに指が当たったり、電源に電動工具が接続されていて、オンになったりすることで、事故が発生する可能性があります。
- d) 電動工具をオンにする前に、調節ツールやレンチを取り除いてください。電動工具の回転部に存在するツールやレンチにより、怪我をする危険があります。
- e) 不自然な姿勢は、避けてください。常にしっかりとした足場を確保し、常にバランスをとれるようにしてください。これにより、予期しない状況が発生した場合、電動工具の制御が、行いやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。緩みのある衣服や装身具を着用しないでください。髪の毛、衣服を、可動部に近づけないでください。ゆったりとした衣服、装飾品、長い髪の毛は、可動部に挟まるおそれがあります。

- g) 粉塵吸引収集装置を取り付ける場合、適切に接続、使用してください。粉塵吸引装置を使用することにより、粉塵による危険を低減することができます。
- h) 電動工具の取扱いに慣れていても、安全性を損なうような行為や、電動工具の安全のための注意事項に従わない行為を、行わないでください。不適切な取扱いは、一瞬にして重傷につながる可能性があります。

### 2.1.4 電動工具の使用および取扱い

- a) 電動工具に、過重な負荷を加えないでください。作業に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具により、作業の質が向上し、既定の出力範囲にて、安全に作業することができます。
- b) スイッチが壊れた電動工具は、使用しないでください。スイッチのオン/オフが機能しない電動工具は、危険を伴うため、修理する必要があります。
- c) 装置の調整、部品の交換、電動工具の保管の前に、コンセントからプラグを抜き取り、取外し可能なバッテリーを取り除いてください。この予防措置により、電動工具の意図しない稼働を、防ぐことができます。
- d) 未使用の電動工具は、お子様の手の届かない場所に保管してください。電動工具の操作に慣れていない人物、もしくは取扱説明書を読んでいない人物に、電動工具の使用を許可しないでください。経験の少ない人物が電動工具を使用する場合、大きな危険が伴います。
- e) 電動工具および使用するツールのお手入れは、慎重に行ってください。可動部が正しく機能するか、詰まっていないか、電動工具の機能を損なうような部品の破損または損傷がないかなどを確認します。電動工具を使用する前に、損傷した部品を修理してください。事故の多くは、電動工具の不適切なメンテナンスに起因します。
- f) 切削用のツールは、鋭利かつ清潔に保ってください。刃先が鋭い、メンテナンスの行き届いた切削用ツールは、引っかけにくく、制御が比較的簡単です。
- g) 電動工具、塗布用具、その他の使用するツールは、本説明書に従って、使用してください。作業要件および実行する作業に、注意してください。既定の用途以外の電動工具の使用は、危険な状況につながる可能性があります。
- h) レバーおよびレバー表面の乾燥した、清潔で、オイルやグリースの汚れがない状態を確保してください。レバーおよびレバー表面が滑りやすくなっている場合、不足の事態における電動工具の操作および制御が困難になります。

### 2.1.5 点検

- a) 電動工具の修理は、資格を有する専門作業員が行い、正規の予備部品のみを使用してください。これにより、電動工具の安全性を確保することができます。

### 2.2 用途に適した使用

ATS flex が完全にかつ安全に動作する状態でのみ、安全に注意し、危険を意識した上で使用してください。

ATS flex は以下を目的とした用途に適しています。

- 結束径 100 mm までの被結束物の自動結束
- 屋内および雨水から保護されている屋外のみでの使用
- 工業用途

### 2.3 不適切な使用

→「用途に適した使用」、6ページの章に記載されている用途以外での使用は、不適切な使用です。不適切な使用に起因する損害は、ATS flex の運用者が単独で責任を負うものとしします。

特に以下の使用は許可されていません。

- 損傷した部品の使用
- 爆発もしくは引火の危険のある環境での使用
- 湿気の多いおよび/もしくは直射日光の当たる場所での使用
- 複数の作業員による同時の使用
- HellermannTyton の同意なしに、ATS flex とその付属品を無断で変更および改造
- HellermannTytonによってテストおよび承認されていない予備部品と付属品の使用
- ハウジングが開いている状態での ATS flex の使用

### 2.4 作業員の資格

未成年者もしくは訓練中の者は、経験豊富な専門家の監督の下で、本体を使用する会社の明確な許可を得た場合にのみ、本体の操作を行うことが許可されます。

#### 2.4.1 操作のための専門作業員

継続的な操作において、専門作業員には、以下の権限および義務が課せられます：

- ATS flex の操作
- トラブルシューティングまたは、故障を解決するための措置の実施
- ATS flex の清掃

これらの作業員は、専門的教育もしくは実務経験を有しており、適切な使用を保証します。

#### 2.4.2 整備やメンテナンスのための専門作業員

整備およびメンテナンスは、必ず資格を有する専門作業員が行ってください。これらの作業員は、専門的教育によりATS flex に精通しており、安全な作業状態を判断することができます。

また、これらの作業員は以下の規則および規定を熟知しています。

- 適用される国の労働保護法
- 事故防止の規制
- 一般的に適用されている技術規格 (例えば、BG (ドイツ労働障害保険組合) 規格、DIN規格、VDE (ドイツ国家電気安全) 規格、欧州連合 (EU) 加盟国もしくは欧州経済地域協定締約国の技術規格など)。

### 2.4.3 資格を有する電気技術者

電源供給部および通電部分の作業は、必ず専門教育を受け、資格を有する電気技術者が行ってください。

### 2.4.4 修理と点検のための認定された専門技術者

修理および安全性の点検は、必ずHellermannTytonの点検技術者もしくはHellermannTytonにより認定されている専門作業員が行ってください。

## 2.5 ATS flex の使用に伴う基本的な危険性

### 2.5.1 作業領域の清潔さ

作業領域の整頓、明るい照明および清潔さは作業を容易にし、危険を低減させ、傷害のリスクを抑えます。

作業領域の整頓および清潔さに関する以下の原則を遵守してください。

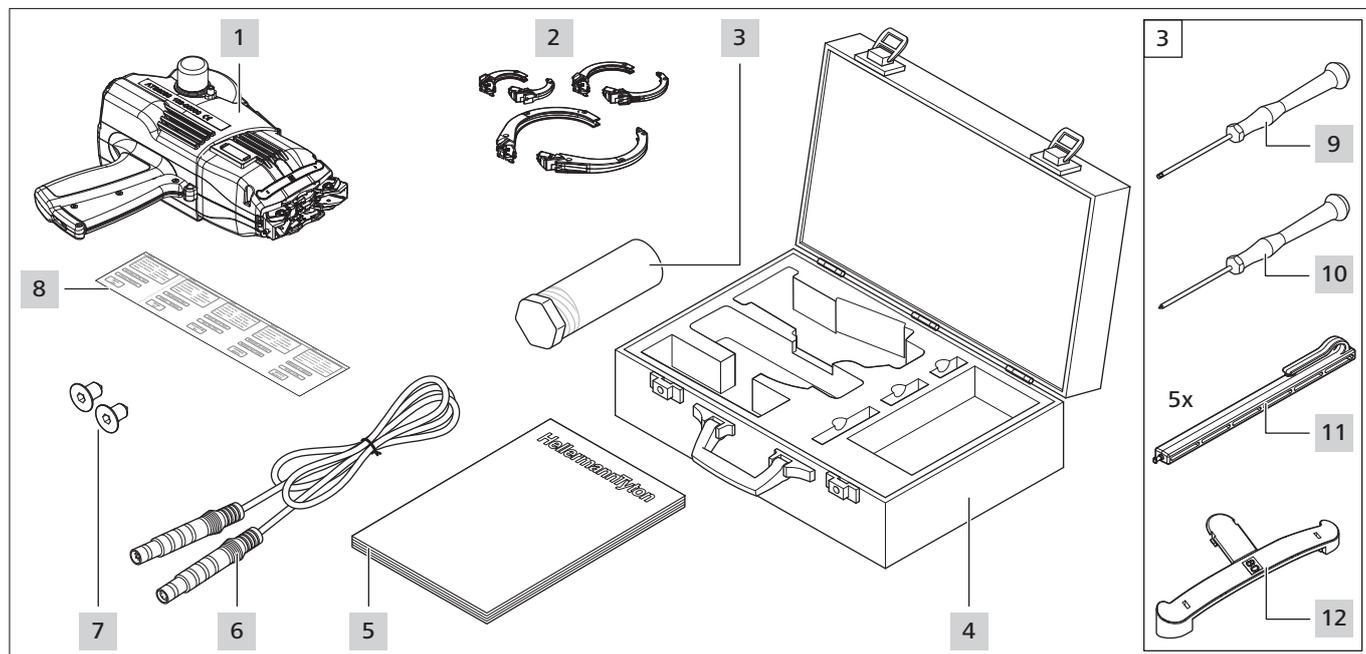
- ▶ 必要がなくなったツールは速やかに片付けてください。
- ▶ つまづく原因になるものを避けてください (例えば、廃棄物は速やかに適切な容器に破棄するなど)。
- ▶ グリース、オイルおよびその他の液体による汚れは速やかに除去してください。
- ▶ 操作フィールドに汚れが付かないようにしてください。

### 2.5.2 予備部品および付属品

- ▶ 正規の予備部品のみを使用することが推奨されています。
- ▶ 部品を交換する場合は、その機能も点検してください。
- ▶ HellermannTytonにより承認されている付属品のみを使用してください。付属品の代用により、ATS flex の動作が変化する可能性があります。

### 3 構造と機能

#### 3.1 納入品目



- 1 オートツール システム フレックス (ATS flex)
- 2 ガイド Ø30 mm、Ø50 mm、Ø80 mm
- 3 点検ボックス
- 4 ケース、鍵2本付き
- 5 Flex の安全に関する注意事項、ショートマニュアル
- 6 接続ケーブル 2 m (パワーバックと ATS flex との接続用)
- 7 吊り下げ用ネジ (2 本)
- 8 ラベル ATS flex

#### 点検ボックスの内容

- 9 六角穴用ドライバー 2 mm
- 10 ドライバー PH0 50
- 11 クロージャー用プーラー (5x)
- 12 止め具 80

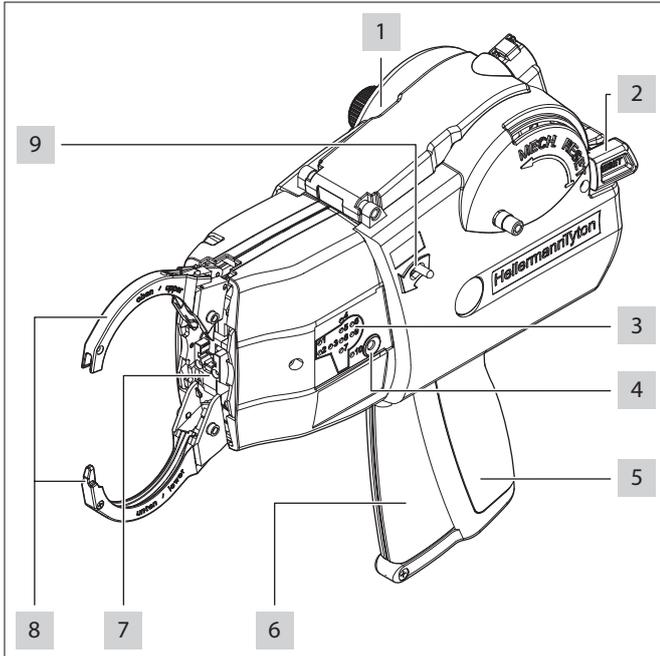
**i** 付属品の製品番号は、以下を参照してください、→「付属品および追加部品」、17ページ

#### 納入品目の確認

- ▶ 納入された品目がすべて揃っているか確認し、輸送による目に見える損傷もしくはその他の損傷がないか確認してください。
- ▶ 損傷が見つかった場合、これについて運送会社から確認を取り、直ちにHellermannTytonへ書面でご連絡ください。

## 3.2 機能説明

### 3.2.1 ツール ATS flex



- 1 ATS flex
- 2 リセットレバー
- 3 表示パネル(ディスプレイ)
- 4 モード選択押しボタン
- 5 ハンドル
- 6 スタートレバー(トリガー)
- 7 ヘッドセンサー装備フロントキャップ
- 8 上下ガイド
- 9 リリースレバー

ATS flex **1** は、ケーブルをまとめたり、ストラップおよびクロージャーで様々な部品を固定するための電動システムです。

ATS flex で結束力を調整することができます。

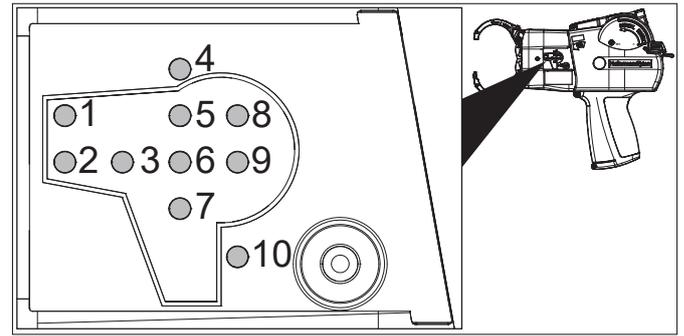
結束を行うには、被結束物をフロントキャップのガイドの間に配置します。次に、スタートレバー **6** を操作します。

エラー(不具合)が発生した場合は、ディスプレイ **3** に故障箇所が示され、**3** 該当するLEDが赤く点灯します。

→「ディスプレイ」、9ページ

モード選択押しボタンは、**4** ATS flex の動作モードを選択するために使用します。→「モード選択」、12ページ。

### 3.2.2 ディスプレイ



- 1 クロージャー位置
- 2 スイッチ
- 3 開始設定
- 4 クロージャー素材
- 5 モーター
- 6 時間
- 7 過負荷
- 8 ロック確認
- 9 ローラーブロック
- 10 リセット

## 4 輸送、廃棄処分および保管

### 4.1 輸送

- ▶ 輸送時には、付属の本体ケースを使用してください。

### 4.2 廃棄処分

ATS flex、個々のサブアセンブリおよび消耗部品や補助部品の廃棄処分は、部分的に法的規制の対象となっています。詳細は、所管行政機関(例えば、地域もしくは国の水および環境管理局)にお問い合わせください。

- ▶ 梱包材の廃棄処分

 地域の廃棄物および環境規制に従って、梱包材を廃棄処分してください。

- ▶ 廃棄物は、認可された集積所でのみ処分してください。
- ▶ 廃棄処分に関して不明な点がある場合は、管轄する地方自治体にお問い合わせください。

### 4.3 保管

- ▶ ATS flex は涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ▶ 直射日光を避けてください。
- ▶ ほこりが付かないよう、ATS flex をしっかりと包装して保管してください。
- ▶ 電気部品 (ATS flex) は衝撃に耐えられるように包装し、付属品と分けて保管してください。
- ▶ 付属品の保管に関しては、対応するデータシートを確認してください。

### 4.4 返品

- ▶ 返品時には、付属の本体ケースを使用してください。使用しない場合、代用ケース分の料金が請求されることがあります。

## 5 搭載

### 5.1 付属品の取り付け

- ▶ 付属品を取り付ける際は、付属品に添付の説明書を確認してください。

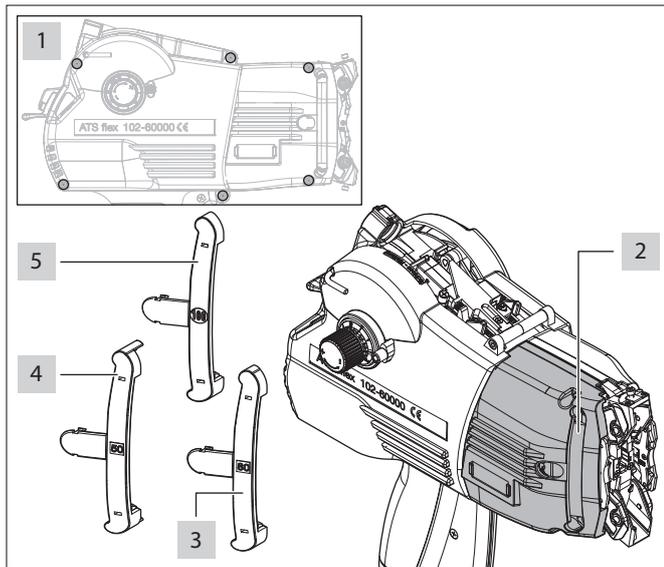
### 5.2 止め具の使用

#### 必要なツール

- ・ 六角穴用ドライバー 2.5 mm

**i** 六角穴用ドライバー 2.5 mm は、製品内容に含まれません。

#### 止め具の使用



次の止め具を、使用することができます →「結束物の形状」、13ページ:

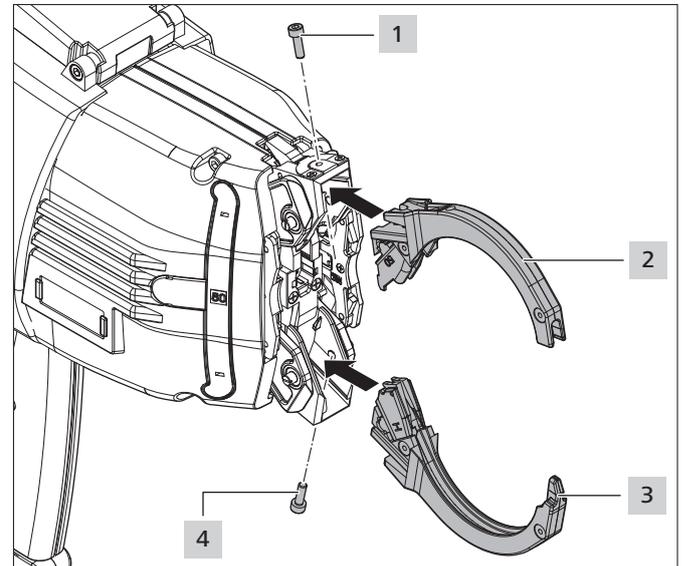
- ・ 止め具 50 **4** ガイド Ø30 mm および Ø50 mm
- ・ 止め具 80 **3** ガイド Ø80 mm
- ・ 止め具 100 **5** ガイド Ø100 mm
- ▶ 6本のネジ**1**をゆるめます。
- ▶ 後部ハウジングシェルを軽く持ち上げ、前部ハウジングシェル**2**を取出します。
- ▶ 前部ハウジングシェル**2**を回転させます。
- ▶ 結束する物に適した止め具を、ハウジングシエルの溝に、**2**内側から設置します。
- ▶ 前部ハウジングシェル**2**を後部ハウジングシエルの下へ移動させ、ハウジングを閉じます。
- ▶ ハウジングシェルをネジ**1**で固定します。

### 5.3 ガイドの取り付け

#### 必要なツール

- ・ 六角穴用ドライバー 2 mm

#### ガイドの取り付け



- ▶ 結束する物に適したガイドを選択してください →「結束物の形状」、13ページ
- ▶ ネジ**1**および**4**を外します。
- ▶ 上ガイド**2**および下ガイド**3**を、各ガイド固定のストップ位置まで、挿入します。
- ▶ 上下ガイドのマークに注意し、正しい位置に取り付けてください。

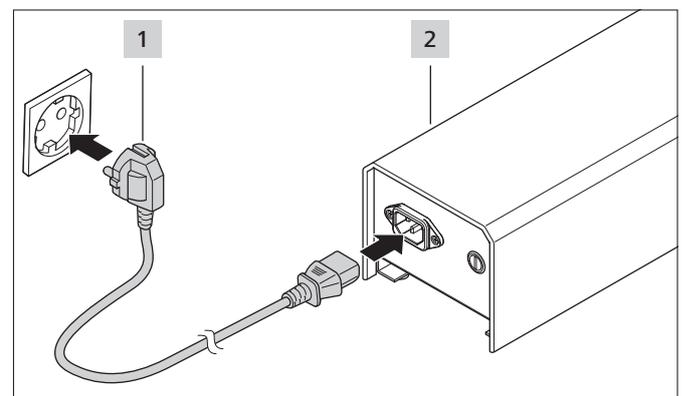
#### 注記

ネジ頭を、ハウジングの上に置かないでください。

- ▶ ネジをストップ位置まで締めないでください。

- ▶ ネジ**1**および**4**を締め、ガイドを固定します。

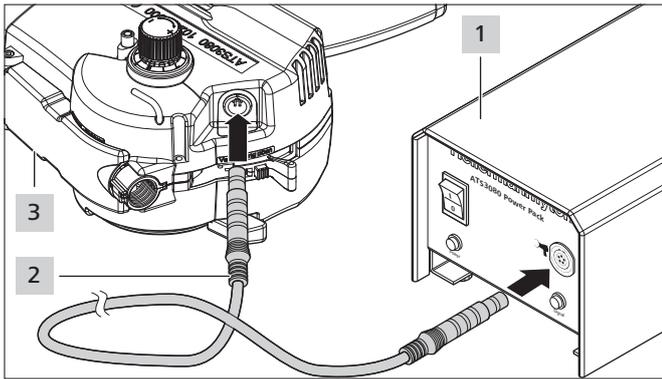
### 5.4 ATs flex の接続



- ▶ パワーパック**2**を電源**1**に接続します。

#### 注記

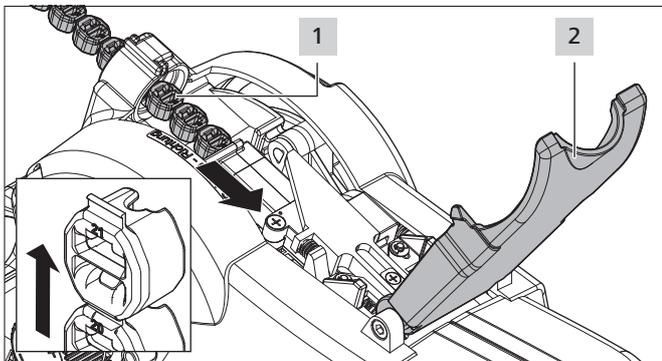
必要な場合に、電源を切ることができるようにするため、電源プラグは手の届きやすい場所に配置してください。



- ▶ Das ATS flex **3** を接続用ケーブル **2** でパワーパック **1** と接続します。
- ☑ 接続ケーブル **2** のクランプリングをはめます。

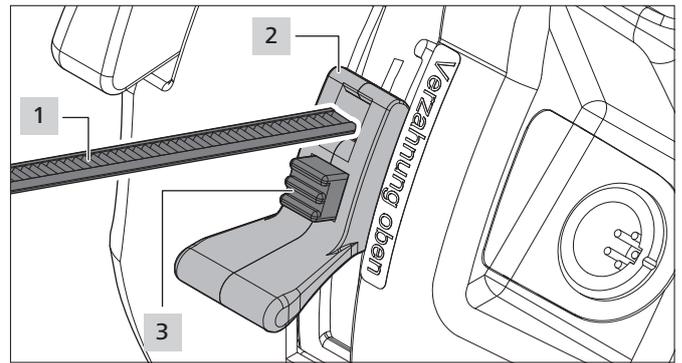
## 6 操作

### 6.1 クロージャーのセット



- ▶ クロージャーチェーン **1** を、番号が前と上を向くように挿入します。
- ▶ ATS flex のカバー **2** を開きます。
- ▶ クロージャーチェーン **1** を、最初にはまる位置まで、動かします。
- ☑ ディスプレイの LED **4** **クロージャー素材** が消えます。
- ☑ クロージャーチェーン **1** がかみ合った音がし、所定の位置にしっかりと収まります。
- ▶ カバー **2** を閉じます。

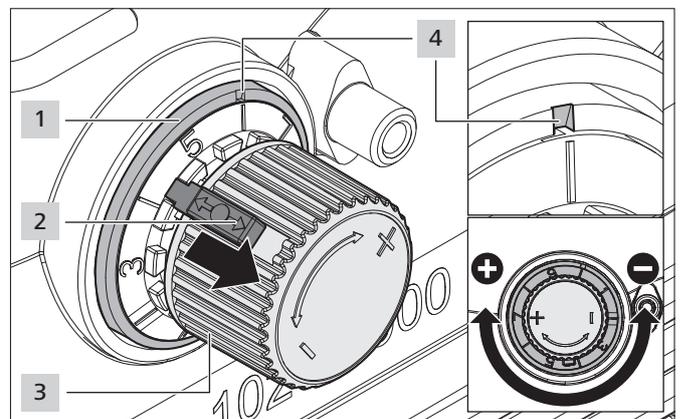
### 6.2 ストラップのセット



- ▶ ストラップ **1** が直角にカットされていることを確認してください。
- ▶ ローラーブロック **2** の赤いボタン **3** を押し、調整するために少し押し続けます。
- ▶ ローラーブロック **2** をカチッと音がして所定の位置に収まるまで中央の位置に押し込みます。
- ▶ ストラップ **1** を歯を上に向けて、約 10 cm の深さまで挿入します。
- ▶ ローラーブロック **2** を赤いボタン **3** が所定の位置にカチッと収まるまで、上に押し込みます。
- ☑ ストラップ **1** が抜けない状態になります。
- ☑ ディスプレイの LED **9** **ローラーブロック** が消灯します。

### 6.3 締付け強度の設定

ATS flex には、締付け強度を調整することができる調整ノブが付いています。

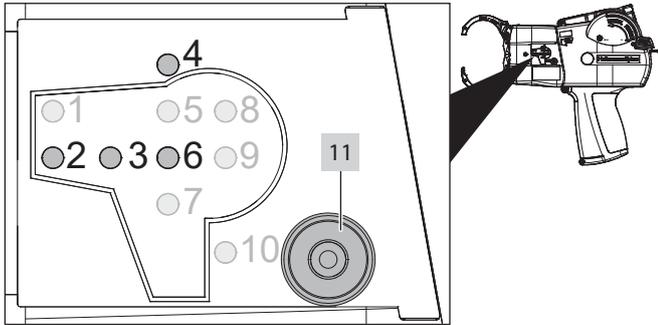


- ▶ 調整ノブ **3** のロックピン **2** をギアから引き抜きます。
- ▶ 引き出したロックピン **2** を希望の締付け強度まで、調節ノブ **3** で調節します。
- 時計回りに回転させると、強度が増します。
- 反時計回りに回転させると、強度が減少します。
- ☑ 選択した設定は、**4** マーキングリング **1** の白いノッチに表示されます。
- ▶ ロックピン **2** をはめ込みます。

### 6.4 スイッチをオンにする

- ▶ ATS flex が作動できる状態か、確認してください。
- ☑ ストラップがセットされ、ローラーブロックがロックされています、→「ストラップのセット」、11ページ
- ☑ クロージャーを、正しい方向にセットします、→「クロージャーのセット」、11ページ
- ☑ クロージャーは、緑の領域で確認することができます。
- ☑ デフレクターが繰り出されています。デフレクターが繰り出されていない場合、リセットが必要です、→「リセットの実施」、17ページ
- ▶ パワーパックのメインスイッチをオンにします。
- ☑ パワーパックのLED信号灯**Signal**および**Power**が緑色に点灯します。
- ☑ ATS flex のLED 10 **リセット** が緑色に点灯します、→「ディスプレイ」、9ページ
- ☑ ATS flex は作動できる状態です。
- ▶ 試し結束を 10 回実施してください。

### 6.5 モード選択



ATS flex には、選択可能なモードが 3 つあります。作動中のモードの表示とモードの選択は、押しボタンを使用して **11** 開始されます。

- 手順1:** 押しボタンを 2 秒間押し続けます。
- ☑ モード選択が開始します。作動中のモードは、ATS flex ディスプレイの LED 2、3、4、および 6 から読み取ることができます。

表示	モード	説明
LED 4, LED 2	標準	通常動作
LED 4, LED 3	2 秒間一時停止	巻付けと巻き戻しの間に 2 秒間の一時停止があります
LED 4, LED 6	減速した巻き戻し	巻き戻しは通常動作よりもゆっくりとなります

**手順2:** 押しボタンを短く押すと、次のモードに切り替わります。希望のモードが表示されるまで繰り返し押しします。

- 手順3:** 押しボタンを 2 秒間押し続けます。
- ☑ モード選択が終了します。最後に選択されたモードで作動します。

### 6.6 結束

- ▶ 被結束物を、ATS flex のフロントキャップの前まで、動かします。

#### 注記

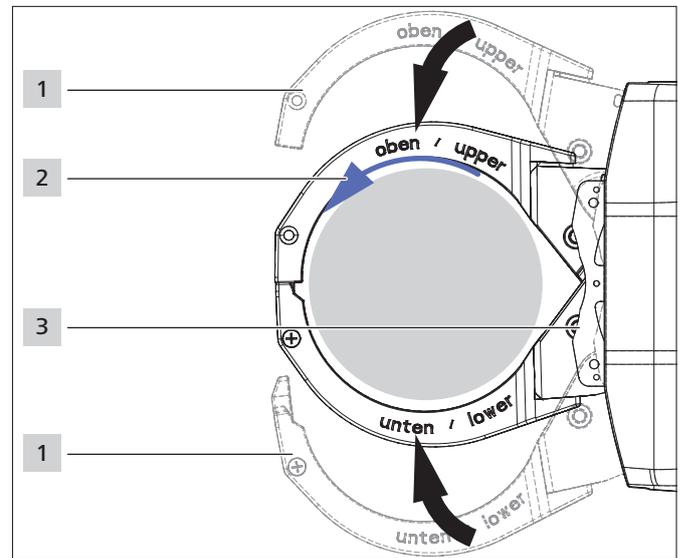
- ▶ ATS flex のフロントキャップを被結束物に押し付けしないでください。

- ▶ スタートレバーを押して、結束を開始します。
- ☑ ガイドが被結束物を囲み込み、結束が行われます。

### 6.7 通常操作時の動作シーケンス

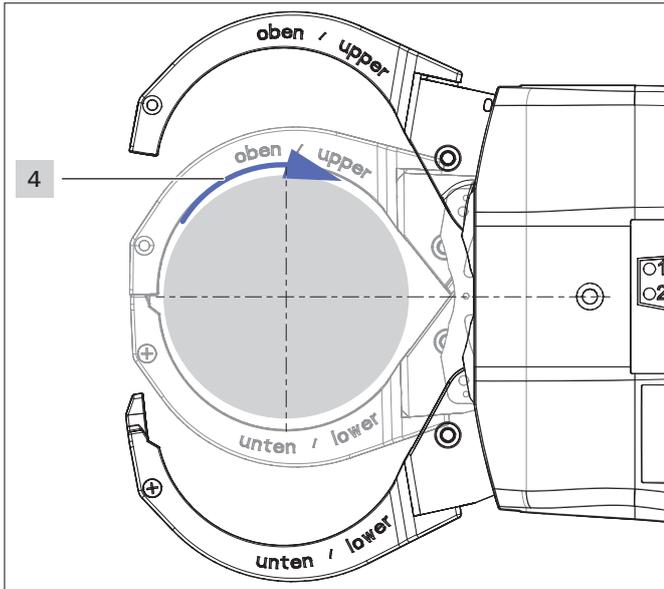
**i** ここでは、ガイド Ø50 mm 及び丸い対象物（被結束物）を使用時の動作シーケンスを示しています。

#### スタート位置



- 手順1:** ガイド **1** を閉じます。
- 手順2:** ストラップが巻き付きます **2**。
- 手順3:** ATS flex が巻き戻しに切り替わります。
- 手順4:** デフレクター **3** が戻り、ガイド **1** が跳ね上がります。

締め付け位置

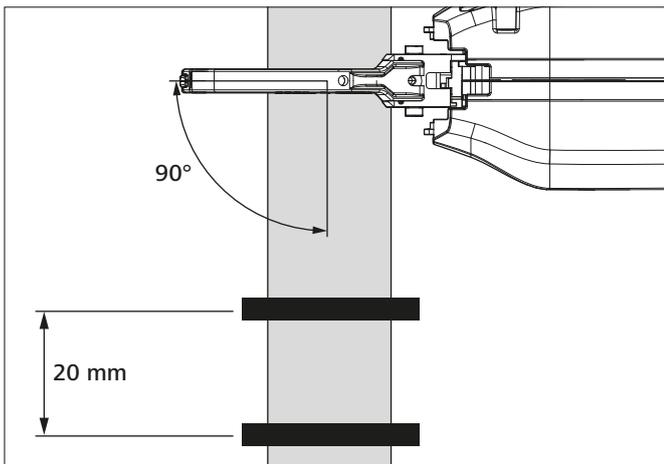


- 手順5: ストラップが締め付けられます 4。
- 手順6: 設定された締め付け強度に達すると、ストラップが切断されます。
- 手順7: デフレクターが繰り出されます。ATS flex が停止します。
- 手順8: ATS flex は次の結束を開始する準備ができています。

6.8 位置決め

6.8.1 被結束物の位置決め

- ▶ 被結束物は、常に同じように位置決めします。
- ▶ 被結束物は予めきれいに結束しておきます。ケーブルの端が、突き出ないようにします。
- ▶ ATS flex の上下ガイドが閉じる動作が妨げられないように注意します。

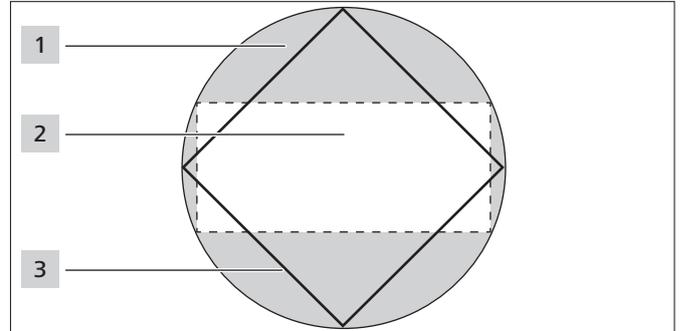


- ▶ ATS flex を結束物に 90°の角度で設定して、ストラップが重なり合うことなく、しっかりと結束されるようにします。
- ▶ ストラップは、少なくとも 20 mm の間隔で配置します。

注記

結束プロセスを正常に行うため、必ず被結束物をガイドの中心に垂直に配置してください。→「締め付け位置」、13 ページ

6.8.2 結束物の形状



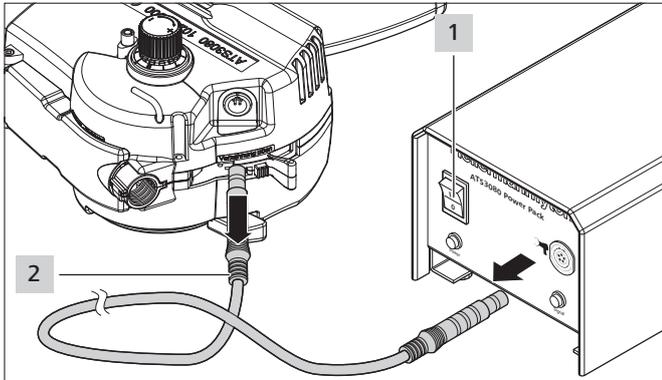
寸法	ガイド 30	ガイド 50	ガイド 80	ガイド 100
直径 [mm] 1	最大 30	最大 50	最大 80	最大 100
長方形 [mm] 2	最大 12 x 27	最大 23 x 45	最大 34 x 72	最大 40 x 92
正方形 [mm] 3	最大 21 x 21	最大 35 x 35	最大 56 x 56	最大 70 x 70

**i** ATS flex パワーパックのスイッチをオンにした後、最初の 2 つの結束中に測定が実行されます。その際には速度が低下します。測定を実行することで、以降の結束速度と品質が向上します。

## 6.9 スイッチをオフにする

### 注記

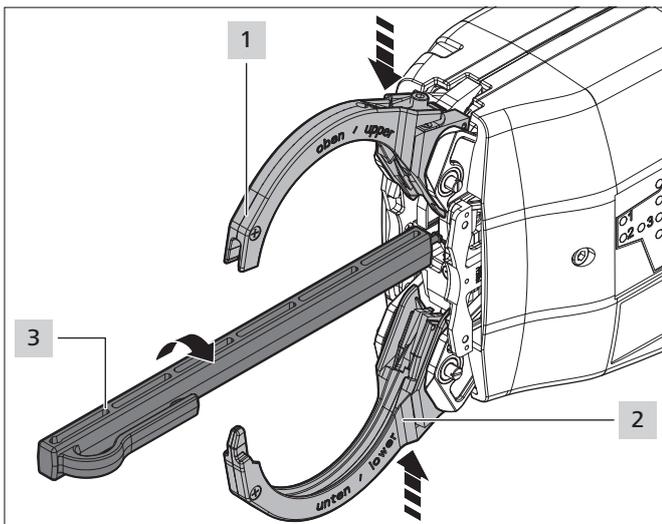
- ▶ ATS flex の不使用時および交換時は、パワーパックのメインスイッチをオフにしてください。



- ▶ パワーパックのメインスイッチ **1** をオフにします。
- ▶ 取り外す際には、接続ケーブルのクランプリング **2** を引きます

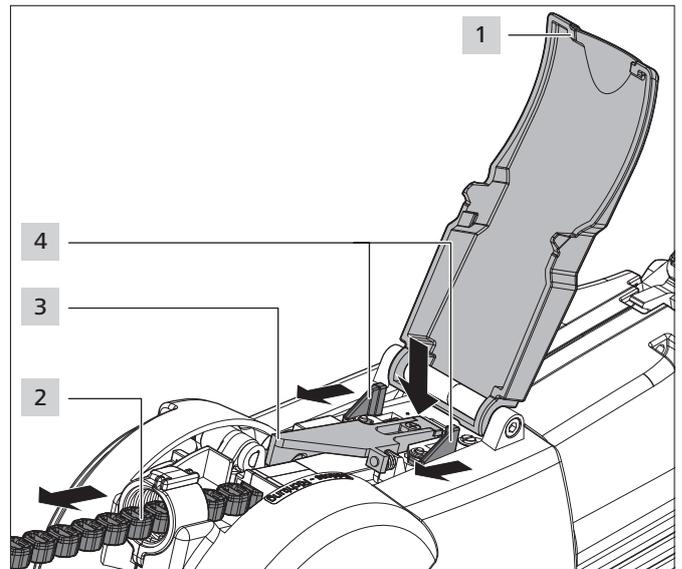
## 6.10 クロージャーを取り除く

### 6.10.1 クロージャーをフロントキャップから取り除く



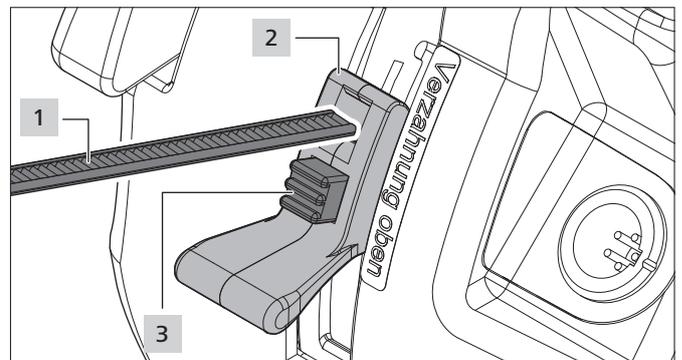
- ▶ パワーパックのメインスイッチをオフにします。
- ▶ ガイド **1** および **2** を軽く押します。
- ☑ クロージャーがフロントキャップ内に送られます。
- ▶ クロージャープーラー **3** を挿入し、90°回転させます。
- ▶ クロージャープーラー **3** でクロージャーを引き抜きます。

### 6.10.2 クロージャー装着部からクロージャーを取り除く



- ▶ パワーパックのメインスイッチをオフにします。
- ▶ ATS flex のカバー **1** を開きます。
- ▶ クロージャーチェーンが外れるまで、クロージャートランスポートレバー **3** を下に押し下ろします。
- ☑ クロージャートランスポートレバー **3** が、上に傾きません。
- ▶ ラッチ **4** タブをハンドルに向かって後方に押し下ろして **2** を引き抜きます。
- ▶ カバー **1** を閉じます。

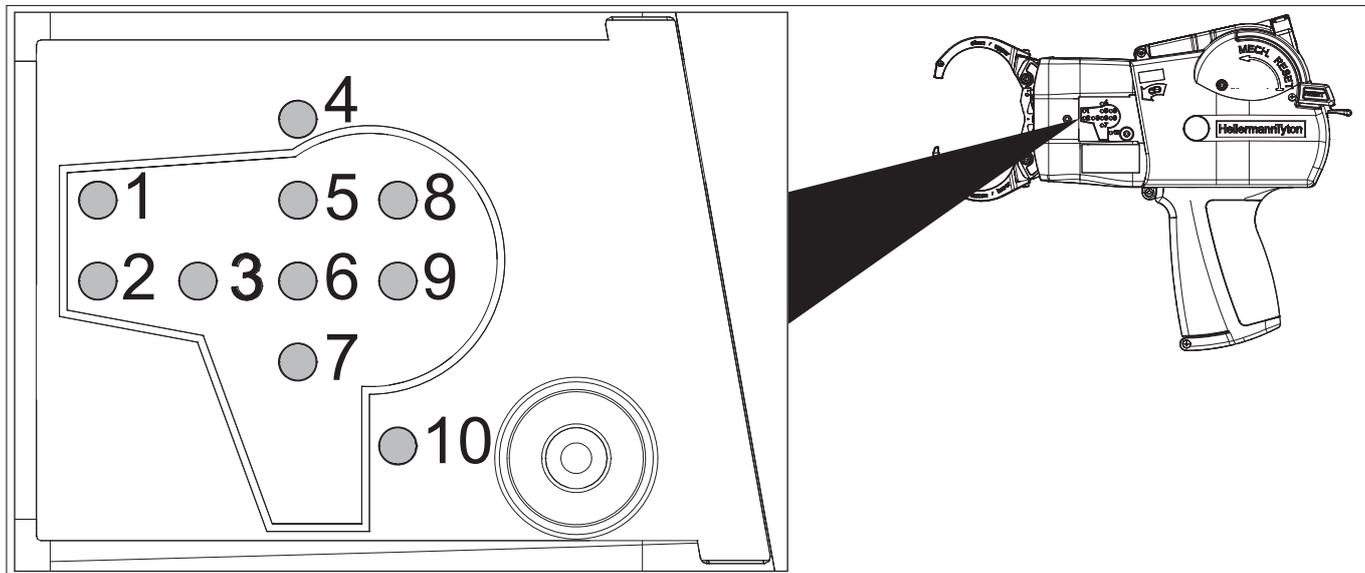
## 6.11 ストラップの取外し



- ▶ パワーパックのメインスイッチをオフにします。
- ▶ ローラーブロック **2** の赤いボタン **3** を押し、押し続けます。
- ▶ ローラーブロック **2** を下の位置に押し込みます。
- ▶ ストラップ **1** を引き抜きます。

## 7 トラブルシューティング

### 7.1 エラー分析



ディスプレイ上のLEDは、現在の作動状況を表示します：

- LED 10 が緑色に点灯：正常
- LED の一つが赤色に点灯：エラー
- LED の点灯なし：ボードの故障

次の表には、ディスプレイにエラーが表示された場合の原因、およびその対処方法が記載されています。

ディスプレイ表示	原因	トラブルシューティング
LED 1 クロージャー位置	クロージャーが所定の位置にありません	▶ フロントキャップを確認します。
LED 1 クロージャー位置 II	クロージャーの通路にあるクロージャーの数が少なすぎます	▶ クロージャーを追加します。
LED 2 スイッチ	スイッチレバーが占有されていません	▶ フロントキャップを確認します。
LED 3 スタート位置	ツールがスタート位置にありません	▶ サイクルの中断を確認してください。 ▶ リセットレバーを一度、ストップ位置まで押し上げます。
LED 4 クロージャー材料	クロージャーチェーンが終了しました	▶ クロージャーをセットします、→「クロージャーのセット」、11ページ
LED 5 モーター	モーターの動作が遅すぎます	▶ リセットを実施します、→「リセットの実施」、17ページ ▶ リセットに失敗した場合、サービスにご連絡ください。
LED 6 時間	制限時間の超過	▶ スタートポジションを確立します、→「スイッチをオンにする」、12ページ
LED 7 過負荷	過負荷	▶ ストラップの通路に妨げがないか確認します。 ▶ ストラップの通路内に残っている材料をすべて取り除きます。
LED 8 ロック確認	ガイドが完全にロックされていません	▶ トラブルシューティングは必要ありません
LED 9 ローラーブロック	ローラーブロックが開いています	▶ ローラーブロックを閉じます。
LED 10 リセット	リセットが完了していません	▶ リセットを再度実施します、→「リセットの実施」、17ページ

## 7.2 考えられるエラー

次の表には、ディスプレイには表示されていない、ATS flex のエラーが、記載されています。

故障内容	考えられる原因	解決方法
ループ形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>締め付け力が弱すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 締め付け力を調整します、→「締め付け強度の設定」、11ページ</li> </ul>
タイ切り残し有り、 結束が緩い	<ul style="list-style-type: none"> <li>被結束物と ATS flex の間隔が広過ぎる</li> <li>結束物が平行に配置されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ATS flex のフロントキャップに、被結束物を押し付けずに、近づけてください。</li> <li>▶ 結束中に ATS flex を同梱品から <b>引き離さない</b> いでください。</li> <li>▶ 被結束物を位置決めします、→「被結束物の位置決め」、13ページ</li> </ul>
結束が不可能です。ストラップが垂直に送り出される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドの装備が不適切です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ガイドキャップの摩耗を点検します、→「ガイド、上ガイドフラップ、下ガイドフラップの点検」、18ページ</li> <li>▶ ガイドの装備を点検し、ガイドを適切に取り付けます、→「ガイドの取り付け」、10ページ</li> </ul>
ATS flex から、ガタガタという音が発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドの装備が不適切です。</li> <li>ガイドのレールがブロックされています</li> <li>クロージャージェーンの装備が不適切です</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ガイドの装備を点検し、ガイドを適切に取り付けます、→「ガイドの取り付け」、10ページ</li> <li>▶ ガイドのレールを、つまりがない状態にします。</li> <li>▶ ストラップの摩耗部分を切り取る、もしくはストラップを交換します。</li> <li>▶ クロージャーを取り除き、正しい位置に設置します、→「クロージャーのセット」、11ページ</li> </ul>
機械的リセットが不可能です。ストラップの通路が閉じている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フロントキャップもしくはストラップカッターが正しく取り付けられていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントキャップおよびストラップカッターを適切に装備してください、→「ストラップカッターの確認と交換」、20ページ</li> <li>▶ ストラップチャンネルの詰まりを取り除きます。</li> </ul>
ガイドが閉まりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロージャーの詰まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クロージャーをフロントキャップから取り除きます、→「クロージャーをフロントキャップから取り除く」、14ページ</li> </ul>
クロージャータイが切断されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ATS flex の故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ATS flex をメーカーに送ります、→「お問い合わせ先」、4ページ</li> </ul>
ガイドが跳ね上がる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デフレクターが前にありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ リセットを実施します、→「リセットの実施」、17ページ</li> </ul>
ATS flex がオプション装置に装着した時にディスプレイにエラーメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ATS flex が正しくセットされていない</li> <li>設置が不適切です</li> <li>ATS flex の故障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ATS flex を取り外し、手動で結束を実施します。</li> <li>▶ 正常に機能する場合、ATS flex を適切にセットするか、適切に取り付けます、→「被結束物の位置決め」、13ページ</li> <li>▶ 手動機能確認が失敗した場合は、ATS flex をメーカーに送ります、→「お問い合わせ先」、4ページ</li> </ul>

### 7.2.1 重要な注意事項

**注意**

**ガイドが閉じる際の挟まれる危険性。**

- ▶ 上下ガイドの間に指を入れしないでください。
- ▶ メンテナンス作業は、常にパワーパックの電源をオフにした状態で行ってください。

**注意**

**サービスカバーが開いている時の可動/回転部分による挟まれる危険性。**

- ▶ メンテナンス作業は、常にパワーパックの電源をオフにした状態で行ってください。

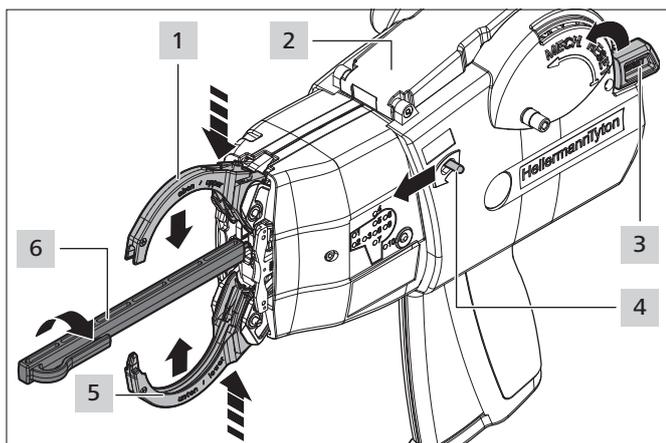
### 7.2.2 リセットの実施

故障が発生した後は、ATS flex を機械的にリセットする必要があります。電気的リセットは、自動的に行われます。

#### 必要なツール

- ・ クロージャー プーラー

#### リセットの実施



- ▶ カバー **2** を閉じます。
- ▶ リリースレバー **4** を、ガイド方向へ押します。
- ☑ ガイド **1** および **5** が開きます。
- ▶ ガイド **1** および **5** をガイドキャッチに軽く押し込みます (矢印を参照)。
- ☑ クロージャーがフロントキャップ内に送られます。
- ▶ クロージャープーラー **6** を挿入し、90°回転させます。
- ▶ クロージャープーラー **6** でクロージャーを引き抜きます。
- ▶ リセットレバーを **3** **2**回 上方向へ、ストップ位置まで押します。

## 8 メンテナンス

### 8.1 重要な注意事項

ATS flex が正常に機能することを保証するためには、定期的にメンテナンスを実施する必要があります。→「メンテナンスプラン」、18ページ

**注意**

**ガイドが閉じる際の挟まれる危険性。**

- ▶ 上下ガイドの間に指を入れしないでください。
- ▶ メンテナンス作業は、常にパワーパックの電源をオフにした状態で行ってください。

**注意**

**サービスカバーが開いている時の可動/回転部分による挟まれる危険性。**

- ▶ メンテナンス作業は、常にパワーパックの電源をオフにした状態で行ってください。

### 8.2 付属品および追加部品

付属品および追加部品はご使用の国の HellermannTyton 代理店より、直接注文可能です(→ 個別の予備部品リスト)。

製品名	Article number
取扱説明書	102-01024
パワーパック	102-00150
電源コード 1.8 m	102-00011
接続ケーブル 2 m	123-90052
六角穴用ドライバー 2 mm	102-01103
ドライバー PH0 50	102-01105
クロージャー プーラー	102-01110
止め具 80	102-10064
ベンチマウントキット flex	102-00040
ベンチマウントキット 平行 flex	102-00041
ベンチマウントキット 自動 flex	102-00042
オーバーヘッドサスペンダー flex	102-00050
ガイド拡張キット Ø100 mm	ご要望に応じて

### 8.3 製造元によるサービス

毎年または約100万回結束後、ATS flex の HellermannTytonによるメンテナンスを行うことを推奨します。

すべての国の点検に関するお問い合わせ先は、以下をご覧ください([www.HellermannTyton.com](http://www.HellermannTyton.com))

8.4 メンテナンスプラン

いつ?	誰が?	どのように何を?
毎日	設置専門者	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ フロントキャップに圧縮空気を吹き付けます。</li> <li>▶ ガイドがしっかりと取り付けられていることを確認します。</li> </ul>

8.5 修理作業

注記

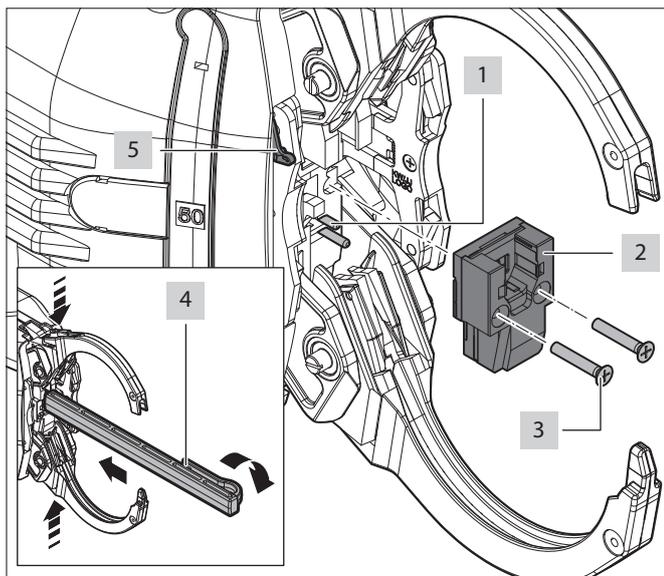
- ▶ いかなるメンテナンス作業を行う場合も、作業の前に必ずリセットを行ってください→「リセットの実施」、17ページ。

8.5.1 フロントキャップの清掃

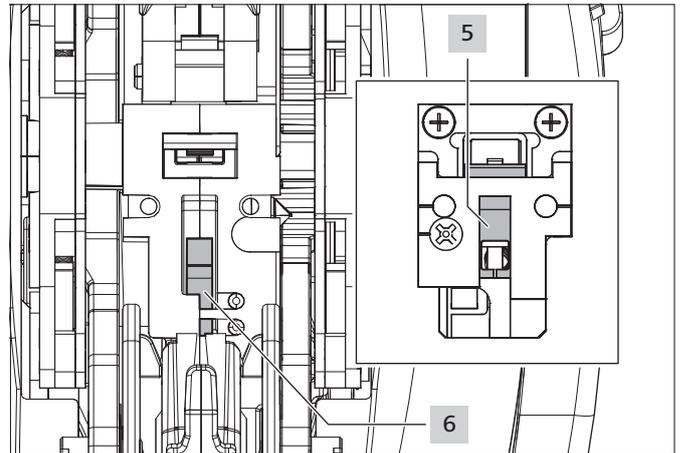
必要なツール

- ・ クロージャー プーラー
- ・ ドライバー PH0 50

フロントキャップの清掃



- ▶ ガイドキャッチのガイドを軽く押します(矢印参照)。
- ☑ クロージャーがフロントキャップ 2 内に送られます。
- ▶ クロージャープーラー 4 を挿入し、90°回転させます。
- ▶ クロージャーをフロントキャップ 2 から引き出します。
- ▶ フロントキャップのネジ 3 を外します。
- ▶ フロントキャップ 2 を取り外します。
- ▶ フロントキャップ 2 を分解し、圧縮空気またはブラシで掃除します、→「ストラップカッターの確認と交換」、20ページ
- ▶ ATS flex の前部に、圧縮空気を吹き付けます。
- ▶ フロントキャップのロックレバー 5 に縮空気を吹き付けます。



- ▶ ストラップカッター 5 およびスイングストラップカッター 6 が開口部(下)にあることを、確認してください。
- ▶ フロントキャップ 2 を設置し、ネジ 3 で固定します。
- ▶ 装着時にフロント領域にある両方のピン 1 を損傷しないように注意してください。

注記

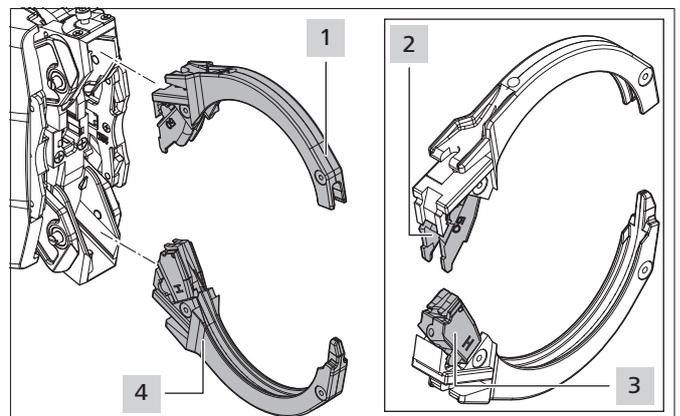
ピンが損傷すると、1 ATS flex が誤動作する原因になります。

8.5.2 ガイド、上ガイドフラップ、下ガイドフラップの点検

必要なツール

- ・ 六角穴用ドライバー 2 mm

ガイド、上ガイドフラップ、下ガイドフラップの点検



- ▶ 両ガイド 1 および 4 を ATS flex から取出します、→「ガイドの取り付け」、10ページ
- ▶ ガイド、上ガイドフラップ 2 および下ガイドフラップ 3 に摩耗や損傷がないか、点検します。
- ▶ 摩耗もしくは損傷がある場合は、ガイドを新品と交換します。

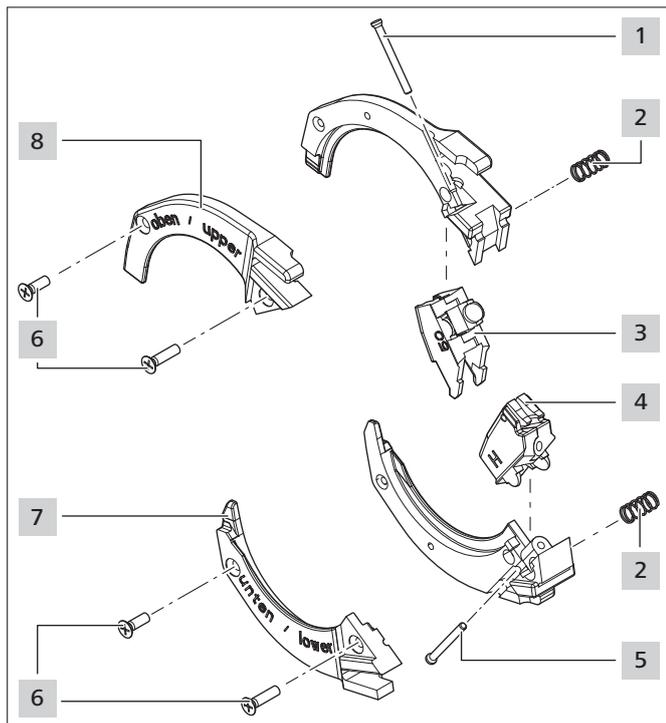
- ▶ 上ガイドフラップ **2** および下ガイドフラップ **3** に摩耗や損傷がある場合は、交換してください。→「上ガイドフラップおよび下ガイドフラップの交換」、19ページ

### 8.5.3 上ガイドフラップおよび下ガイドフラップの交換

#### 必要なツールおよび補助品

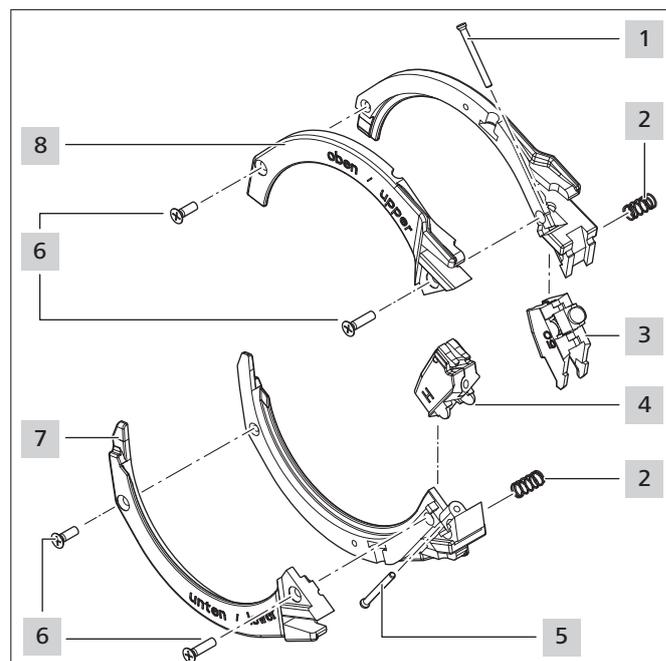
- ドライバー PH0 50
- Loctite 243 (オプションで HellermannTyton より入手可能)

#### ガイド Ø30 の下ガイドフラップおよび上ガイドフラップの交換



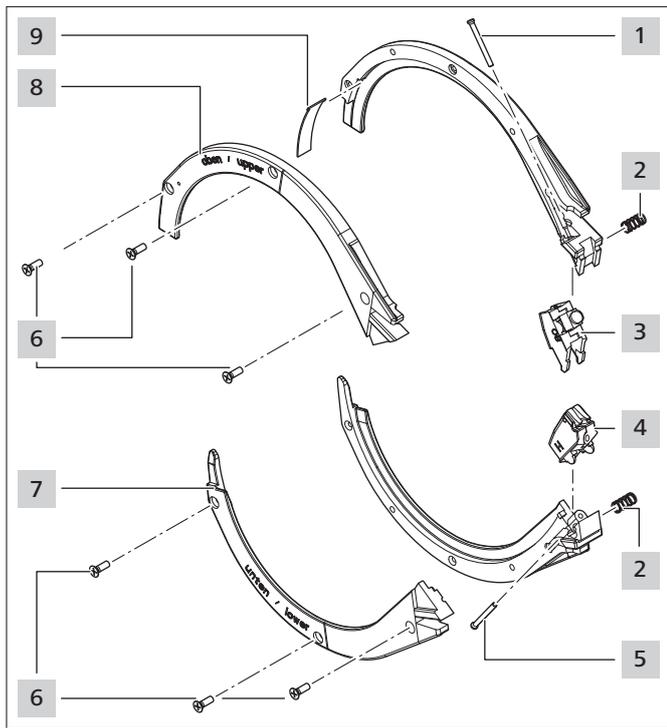
- ▶ 上下ガイドのネジ **6** を外します。
- ▶ ガイドの片側 **7** および **8** を取り除きます。
- ▶ 上ガイドフラップ **3** のピン **1** を抜き取ります。
- ▶ 下ガイドフラップ **4** のピン **5** を抜き取ります。
- ▶ 上ガイドフラップ **3** および下ガイドフラップ **4** を取り除きます。
- ▶ スプリング **2** を取り外します。
- ▶ 新しい上ガイドフラップ **3** および下ガイドフラップ **4** のスプリング **2** を設置します。
- ▶ 上ガイドフラップ **3** を上のガイドの片側に設置して、ピン **1** で固定します。
- ▶ 下ガイドフラップ **4** を下のガイドの片側に設置して、ピン **5** で固定します。
- ▶ ガイドの片側 **7** および **8** を設置します。
- ▶ ネジのねじ山部分 **6** に、それぞれ Loctite 243 を一滴塗布します。
- ▶ ネジ **6** を設置し、締めます。

#### ガイド Ø50 の下ガイドフラップおよび上ガイドフラップの交換



- ▶ 上下ガイドのネジ **6** を外します。
- ▶ ガイドの片側 **7** および **8** を取り除きます。
- ▶ 上ガイドフラップ **3** のピン **1** を抜き取ります。
- ▶ 下ガイドフラップ **4** のピン **5** を抜き取ります。
- ▶ 上ガイドフラップ **3** および下ガイドフラップ **4** を取り除きます。
- ▶ スプリング **2** を取り外します。
- ▶ 新しい上ガイドフラップ **3** および下ガイドフラップ **4** のスプリング **2** を設置します。
- ▶ 上ガイドフラップ **3** を上のガイドの片側に設置して、ピン **1** で固定します。
- ▶ 下ガイドフラップ **4** を下のガイドの片側に設置して、ピン **5** で固定します。
- ▶ ガイドの片側 **7** および **8** を設置します。
- ▶ ネジのねじ山部分 **6** に、それぞれ Loctite 243 を一滴塗布します。
- ▶ ネジ **6** を設置し、締めます。

ガイド Ø80 の下ガイドフラップ および上ガイドフラップの交換



- ▶ 上下ガイドのネジ 6 を外します。
- ▶ ガイドの片側 7 および 8 を取り除きます。
- ▶ 上ガイドフラップ 3 のピン 1 を抜き取ります。
- ▶ 下ガイドフラップ 4 のピン 5 を抜き取ります。
- ▶ 上ガイドフラップ 3 および下ガイドフラップ 4 を取り除きます。
- ▶ スプリング 2 を取り外します。

注記

ガイド Ø80 のフラップは、ガイド Ø30 および Ø50 と異なります。

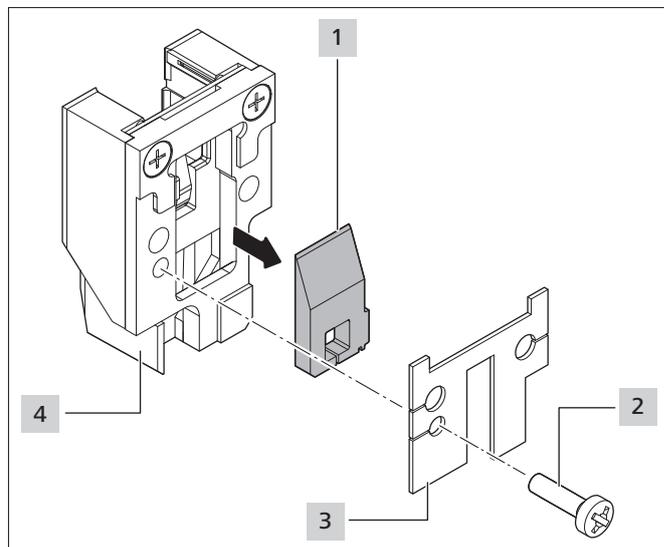
- ▶ 新しい上ガイドフラップ 3 および下ガイドフラップ 4 のスプリング 2 を設置します。
- ▶ 上ガイドフラップ 3 を上のガイドの片側に設置して、ピン 1 で固定します。
- ▶ 下ガイドフラップ 4 を下のガイドの片側に設置して、ピン 5 で固定します。
- ▶ 板金部品 QZ80 9 を装着します。
- ▶ ガイドの片側 7 および 8 を設置します。
- ▶ ネジのねじ山部分 6 に、それぞれ Loctite 243 を一滴塗布します。
- ▶ ネジ 6 を設置し、締めます。

8.5.4 ストラップカッターの確認と

交換必要なツール

- ドライバー PH0 50

ストラップカッターの確認と交換



- ▶ ガイドを取り外します、→「ガイドの取り付け」、10ページ
- ▶ フロントキャップ 4 を取り外します、→「フロントキャップの清掃」、18ページ

**注意**

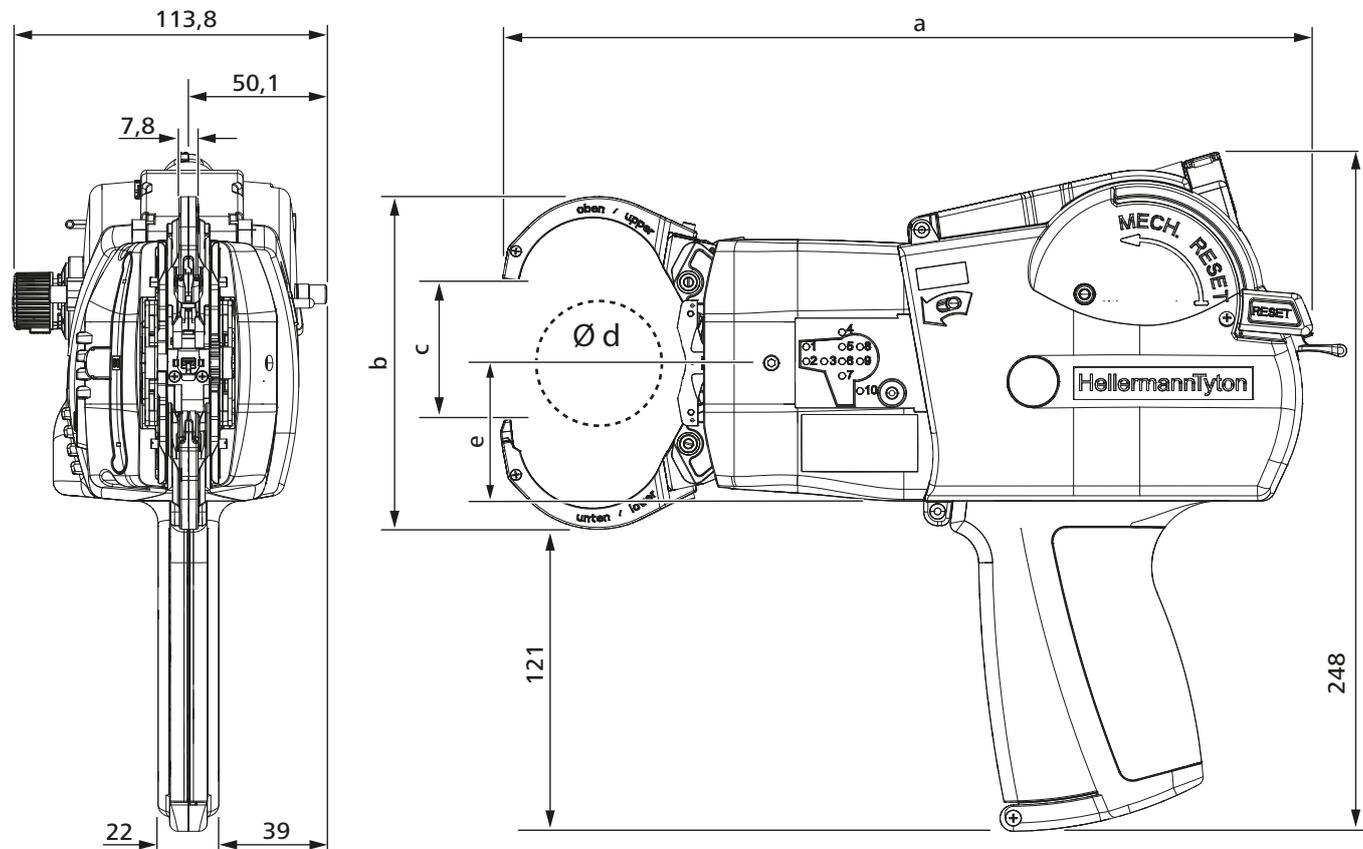
切断の危険があります。ストラップカッターは非常に鋭利です。

- ▶ 刃先には絶対に手で触れないでください。

- ▶ ネジ 2 を緩め、カバー フロントキャップ 3 をフロントキャップの裏側 4 から取り除きます。
- ▶ ストラップカッター 1 を取り除き、圧縮空気で清掃します。
- ▶ ストラップカッターに損傷がないか確認し、必要に応じて交換します。
- ▶ フロントキャップ 4 を圧縮空気で洗浄します。
- ▶ ストラップカッター 1 をぴったりと装着します。
- ▶ カバー フロントキャップ 3 をネジ 2 で設置します。
- ▶ ネジ 2 を締めます。
- ▶ フロントキャップ 4 を取り付けます、→「フロントキャップの清掃」、18ページ。

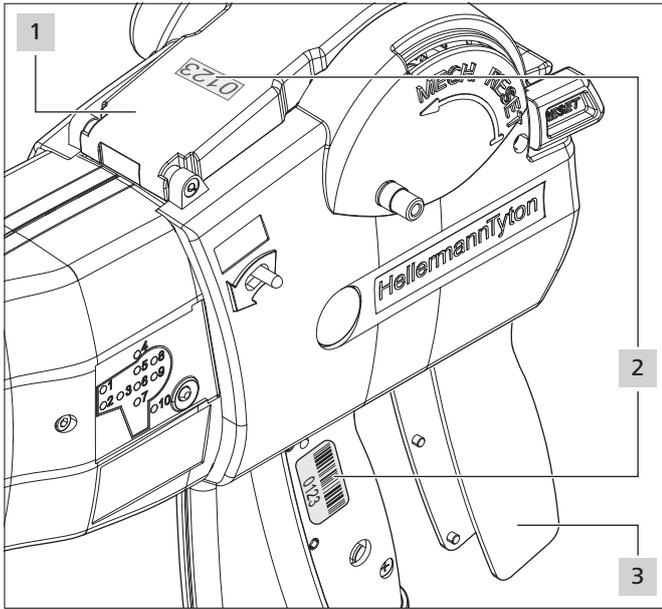
9 技術仕様

9.1 ATS flex



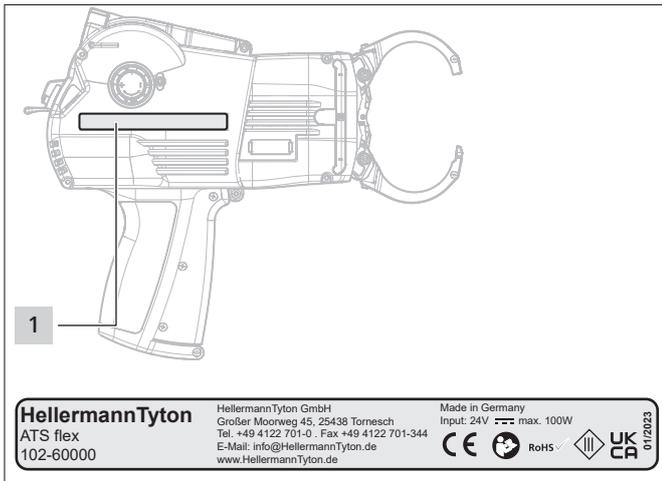
	値	ガイド Ø30 mm	ガイド Ø50 mm	ガイド Ø80 mm
最大消費電力			100 W	
入力電圧			24 V	
重量			約 1815 g	
被結束物の厚さ	Ø d	30 mm	50 mm	80 mm
寸法	a	272 mm	293 mm	329 mm
	b	最大 111 mm	最大 134 mm	最大 175 mm
	c	最大 64 mm	最大 68 mm	最大 80 mm
	e	最大 50 mm	最大 50 mm	最大 50 mm

9.1.1 本体番号



シリアル番号 **2** は、ATS flex のハンドルカバー **3** の下とカバー **1** の内側に記載されています。

9.1.2 銘板



銘板 **1** はハウジングの右側面にあります。

9.2 騒音と振動に関する情報

放射音圧レベル $L_{pA}$ 不確か性 $K_{pA}$	71 dB re20 $\mu$ Pa 3 dB
音響パワーレベル $L_{WA}$ 不確か性 $K_{WA}$	82 dB re1pW 3 dB
振動の合計値 $a_h$ 不確か性 $K$	0.79 m/s <sup>2</sup> 1.5 m/s <sup>2</sup>

**i** ここに記載している振動レベルは、規格EN 62841-1:2015 に準拠した測定方法で測定されており、装置を比較する目的で使用することができます。

ここに記載している振動に関する値は、本体を意図された用途で使用した場合のものであり、その他の用途で使用されたり、メンテナンスを適切に行っていない場合の値とは異なる可能性があります。

特定の作業空間での正確な振動負荷の評価のためには、装置の電源がオフになっている、もしくはオンになっているが作動していない時間も考慮される必要があります。これにより、作業時間全体の振動負荷は明瞭に低下します。

- ▶ 振動の影響から作業者を保護するため、例として以下のような追加の安全対策を行ってください。
- 電動工具および使用ツールのメンテナンス
- 手を暖かく保持すること
- ワークフローの組織化。

## 10 適合宣言書

# HellermannTyton

## E C - CONFIRMATION

**Autotool ATS flex 102-60000**  
incl. power pack 102-00150

Manufacturer: **HellermannTyton GmbH**  
Street: Großer Moorweg 45  
Postal Code / City: 25436 Tornesch  
Country: Germany  
Telefon: +49 4122/701-1  
Fax: +49 4122/701-400

We herewith declare, that the design and construction of the product:

**Name:** Autotool ATS flex  
**Product Type:** Bundle Tool  
**Machine Type:** Electronic Bundle Tool  
**Serial Number:** \_\_\_\_\_

meets the elementary safety and health requirements of the EC rules:

**Machinery Directive 2006/42/EC**  
**Low Voltage Directive 2014/35/EU**

The following harmonized standards have been applied accordingly:

BS EN 62841-1+A11:2015-10-31 and EMV No. 22047-2-R00: 2022-03-23

Tornesch, 22.05.2023

**HellermannTyton GmbH**

ppa. **Spieß,**  
**Hagen**

Digital  
unterschrieben von  
Spieß, Hagen  
Datum: 2023.05.25  
10:35:34 +02'00'

Hagen Spieß  
Head of Product Development

i. A.

Digital unterschrieben  
von Schwinn, Andreas  
Datum: 2023.05.25  
14:56:52 +02'00'

Andreas Schwinn  
Lead Engineer Tool Development

This confirmation corresponds to a manufacturer declaration in terms of the EC machine rule 2006/42/EG.  
Any alterations of the described product makes this declaration invalid.

# HellermannTyton operates globally in 37 countries



## Europe

 **HellermannTyton GmbH – Austria**  
Rennbahnweg 65  
1220 Vienna  
Tel.: +43 12 59 99 55-0  
Fax: +43 12 59 99 11  
Email: htcee.office@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.at

 **HellermannTyton – Bulgaria**  
Email: officeBG@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.bg

 **HellermannTyton – Czech Republic**  
Email: officeCZ@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.cz

 **HellermannTyton – Denmark**  
Industrivej 44A, 1.  
4000 Roskilde  
Tel.: +45 702 371 20  
Email: htdk@HellermannTyton.dk  
www.HellermannTyton.dk

 **HellermannTyton – Finland**  
Äyritie 12 B  
01510 Vantaa  
Tel.: +358 9 8700 450  
Email: myynti@HellermannTyton.fi  
www.HellermannTyton.fi

 **HellermannTyton S.A.S. – France**  
2 rue des Hêtres - CS 80543  
78197 Trappes Cedex  
Tel.: +33 1 30 13 80 00  
Fax: +33 1 30 13 80 60  
Email: info.htf@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.fr

 **HellermannTyton GmbH – Germany**  
Großer Moorweg 45  
25436 Tornesch  
Tel.: +49 4122 701-0  
Fax: +49 4122 701-400  
Email: info@HellermannTyton.de  
www.HellermannTyton.de

 **HellermannTyton KFT – Hungary**  
Kisfaludy u. 13  
1044 Budapest  
Tel.: +36 1 369 4151  
Fax: +36 1 369 4151  
Email: htcee.officeHU@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.hu

 **HellermannTyton Ltd – Ireland**  
Unit A5 Cherry Orchard  
Business Park  
Ballyfermot, Dublin 10  
Tel.: +353 1 626 8267  
Fax: +353 1 626 8022  
Email: sales@HellermannTyton.ie  
www.HellermannTyton.co.uk

 **HellermannTyton S.r.l. – Italy**  
Via Visco, 3/5  
35010 Limena (PD)  
Tel.: +39 049 767 870  
Fax: +39 049 767 985  
Email: info@HellermannTyton.it  
www.HellermannTyton.it

 **HellermannTyton B.V. – Belgium/Netherlands**  
Vanadiumweg 11-C  
3812 PX Amersfoort  
Tel.: +31 33 460 06 90  
Email (NL): info@HellermannTyton.nl  
Email (BE): info@HellermannTyton.be  
www.HellermannTyton.nl  
www.HellermannTyton.be

 **HellermannTyton AS – Norway**  
Niils Hansens vei 13  
0667 Oslo  
Tel.: +47 23 17 47 00  
Email: firmapost@HellermannTyton.no  
www.HellermannTyton.no

 **HellermannTyton Sp. z o.o. – Poland**  
Kotunia 111  
62-400 Słupca  
Tel.: +48 63 2237 111  
Fax: +48 63 2237 110  
Email: info@HellermannTyton.pl  
www.HellermannTyton.pl

 **HellermannTyton – Romania**  
Email: officeRO@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.ro

 **OOO HellermannTyton – Russia**  
40/4, Pulkovskoe road  
BC Technopolis Pulkovo, office A 8081  
196158, St. Petersburg  
Tel.: +7 812 386 00 09  
Fax: +7 812 386 00 08  
Email: info@HellermannTyton.ru  
www.HellermannTyton.ru

 **HellermannTyton – Slovenia**  
Branch Office Ljubljana  
Podružnica Ljubljana, Ukmarjeva 2  
1000 Ljubljana  
Tel.: +386 1 433 70 56  
Fax: +386 1 433 63 21  
Email: officeSI@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.si

 **HellermannTyton España s.l. – Spain / Portugal**  
Avda. de la Industria 37 2º 2  
28108 Alcobendas, Madrid  
Tel.: +34 91 661 2835  
Fax: +34 91 661 2368  
Email: HellermannTyton@HellermannTyton.es  
www.HellermannTyton.es

 **HellermannTyton AB – Sweden**  
Isafjordsgatan 5  
16440 Kista  
Tel.: +46 8 580 890 00  
Fax: +46 8 580 348 02  
Email: kundsupport@HellermannTyton.se  
www.HellermannTyton.se

 **HellermannTyton Engineering GmbH – Turkey**  
Saray Mah Dr. Adnan Büyükdeleniz Cad. No:4  
Akkom Office Park 2. Blok Kat: 10  
34768 Ümraniye-Istanbul  
Tel.: +90 216 687 03 40  
Fax: +90 216 250 32 32  
Email: info@HellermannTyton.com.tr  
www.HellermannTyton.com.tr

 **HellermannTyton Ltd – UK**  
William Prance Road  
Plymouth International Medical  
and Technology Park  
Plymouth, Devon PL6 5WR  
Tel.: +44 1752 701 261  
Fax: +44 1752 790 058  
Email: uk-pt@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.co.uk

 **HellermannTyton Ltd – UK**  
Sharston Green Business Park  
1 Robeson Way  
Altrincham Road, Wythenshawe  
Manchester M22 4TY  
Tel.: +44 161 947 2200  
Fax: +44 161 947 2220  
Email: uk-pt@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.co.uk

 **HellermannTyton Ltd – UK**  
Cley Road, Kingswood Lakeside  
Cannock, Staffordshire  
WS11 8AA  
Tel.: +44 1543 728282  
Fax: +44 1543 728284  
Email: uk-pt@HellermannTyton.com  
www.HellermannTyton.co.uk

 **HellermannTyton Data Ltd – UK**  
Waterside House, Edgar Mobbs Way  
Northampton NN5 5JE  
Tel.: +44 1604 707 420  
Fax: +44 1604 705 454  
Email: sales@htdata.co.uk  
www.htdata.co.uk

## Middle East

 **HellermannTyton – UAE**  
Email: info@HellermannTyton.ae  
www.HellermannTyton.ae

## North America

 **HellermannTyton – Canada**  
Tel.: +1 905 726 1221  
Fax: +1 905 726 8538  
Email: sales@HellermannTyton.ca  
www.HellermannTyton.ca

 **HellermannTyton – Mexico**  
Tel.: +52 333 133 9880  
Fax: +52 333 133 9861  
Email: info@HellermannTyton.com.mx  
www.HellermannTyton.us

 **HellermannTyton – USA**  
Tel.: +1 414 355 1130  
Fax: +1 414 355 7341  
Email: corp@htamericas.com  
www.HellermannTyton.us

## South America

 **HellermannTyton – Argentina**  
Tel.: +54 11 4754 5400  
Fax: +54 11 4752 0374  
Email: ventas@HellermannTyton.com.ar  
www.HellermannTyton.com.ar

 **HellermannTyton – Brazil**  
Tel.: +55 11 4815 9000  
Fax: +55 11 4815 9030  
Email: vendas@HellermannTyton.com.br  
www.HellermannTyton.com.br

## Asia-Pacific

 **HellermannTyton – Australia**  
Tel.: +61 2 9525 2133  
Fax: +61 2 9526 2495  
Email: cservice@HellermannTyton.com.au  
www.HellermannTyton.com.au

 **HellermannTyton – China**  
Tel.: +86 510 8528 2536  
Fax: +86 510 8528 2731  
Email: cservice@HellermannTyton.com.cn  
www.HellermannTyton.com.cn

 **HellermannTyton – Hong Kong**  
Tel.: +852 2831 9090  
Fax: +852 2832 9381  
Email: cservice@HellermannTyton.com.hk  
www.HellermannTyton.com.sg

 **HellermannTyton – India**  
Tel.: +91 120 413 3384  
Email: cservice@HellermannTyton.co.in  
www.HellermannTyton.co.in

 **HellermannTyton – Japan**  
Tel.: +81 3 5790 3111  
Fax: +81 3 5790 3112  
Email: mkt@hellermannTyton.co.jp  
www.HellermannTyton.co.jp

 **HellermannTyton – Republic of Korea**  
Tel.: +82 32 833 8012  
Fax: +82 32 833 8013  
Email: cservice@HellermannTyton.co.kr  
www.HellermannTyton.co.kr

 **HellermannTyton – Philippines**  
Tel.: +63 2 752 6551  
Fax: +63 2 752 6553  
Email: cservice@HellermannTyton.com.ph  
www.HellermannTyton.com.ph

 **HellermannTyton – Singapore**  
Tel.: +65 6 586 1919  
Fax: +65 6 752 2527  
Email: cservice@HellermannTyton.sg  
www.HellermannTyton.com.sg

 **HellermannTyton – Thailand**  
Tel.: +662 237 6702 / 266 0624  
Fax: +662 266 8664  
Email: cservice@HellermannTyton.co.th  
www.HellermannTyton.com.sg

## Africa

 **HellermannTyton – South Africa**  
Tel.: +27 11 879 6600  
Fax: +27 11 879 6603  
Email: jhb.sales@HellermannTyton.co.za  
www.HellermannTyton.co.za